

まちみらい ニュース News

Vol.64

編集 (財)まちみらい千代田

〒101-0054 千代田区神田錦町3-21
ちよだプラットフォームスクウェア4階
TEL3233-7555(代) FAX3233-7557
http://www.chiyoda-days.jp



外国人との交流

エコボートでクルージング



6月12日(土)、外国人の方を対象に、東京の川の歴史と環境問題に触れるエコボート(電動ボート)ツアーを行いました。

一行は、NPO法人あそんで学ぶ環境と科学倶楽部のガイドさんの案内を受けながら、日本橋川～隅田川～神田川と約90分間のクルージングを楽しみました。お天気にも恵まれ、7か国15名の参加があり、ルクセンブルク大公国大使もご家族で参加されました。参加者からは「東京の色々なことを知り、とても勉強になった」といった声が寄せられました。

協力 CWC(チヨダワールドクラブ)

問合せ 産業まちづくりグループ

☎ 3233-7558(直通)

マンション管理セミナー 参加者募集

『マンションを終の棲家とするために』

ノンフィクション作家の山岡淳一郎さん=写真=を講師に迎え、マンションを終の棲家とするために、建物とコミュニティの「再生」の視点からお話しいたします。

とき 9月4日(土)13時45分～14時45分(13時開場)

会場 区民ホール(千代田区役所1階)

定員 100名(申込先着順)

申込み 8月27日(金)までに氏名、住所、マンション名、電話番号、参加者人数を記載のうえ、ファクシミリ(☎3233-7557)またはメール

(☐kyojyu@mm-chiyoda.or.jp)で、お申し込みください。(電話申し込みも可能です。参加費無料)

講演会終了後にマンション理事長連絡会を開催

マンション講演会終了後、同会場にて、第1回千代田区マンション理事長連絡会を開催します。会員の皆様は、ぜひご参加ください。

マンション理事長連絡会への入会は随時受付けていますので、お気軽にお問い合わせください。

問合せ 住宅まちづくりグループ ☎3233-3223(直通)



山岡淳一郎さんのプロフィール
1959年愛媛県生まれ。ノンフィクション作家。「人と時代」「21世紀の公」を共通テーマとして、都市開発と住宅、医療、経済、近現代史など分野を超えて旺盛に執筆。マンションを「終の棲家」にするには建物とコミュニティの「再生」の視点が必要と説く。著書に「狙われるマンション」「あなたのマンションが廃墟になる日」など多数。

第3回 千代田ビジネス大賞



- 1 経営革新部門 経営の革新性を発揮している企業
- 2 コニーク部門 製品やサービスがユニークな企業
- 3 優秀老舗部門 元気な老舗企業
- 4 ワークライフバランス部門 社員の活躍で成長している企業
- 5 ニュービジネス部門 新しいビジネスを創造している企業
- 6 環境貢献部門 地球環境保護に貢献している企業
- 7 安全安心部門 地域の安全安心に貢献している企業
- 8 国際貢献部門 地域の国際化に貢献している企業
- 9 いきいき部門 福祉と健康増進に貢献している企業
- 10 文化伝統部門 文化伝統の継承に貢献している企業
- 11 自由部門 ウチの会社のここを表彰してほしいという企業(部門名は自由につけてください)

まちみらい千代田では、今年度も特徴ある優れた活動実績をあげている区内の中小企業を表彰します。

3回目となる今年は、新設の「ワークライフバランス部門」など11部門で中小企業の皆様のエントリーをお待ちしています。

受賞特典 各賞を受賞した企業には、まちみらいニュースへの広告(1回分)とホームページ「千代田days」へのバナー広告(1カ月間)を無料で掲載します。

▲パンフレット表紙

■表彰式までの流れ



30日(木) エントリー資格 (旧)区内に本店営業の本拠があり、一決算期以上事業活動している法人または個人の中小企業(月)経営成績および財政状態が健全であること

エントリー特典 各部門にエントリーいただいた企業は、まちみらいニュース紙面で企業情報をご紹介します。 URL http://www.chiyoda-days.jp/future/event-info/biz2.htm

千代田まちづくりサポート公開審査会

11グループの活動に助成を決定

6月19日(土)、ちよだプラットフォームスクウェアにて、第12回千代田まちづくりサポートの公開審査会が行われ、11グループの活動に対して総額294万円の助成が決定しました。

今年度の助成活動グループと助成額は次のとおりです。

一般部門(カッコ内の数字は助成回数)

- ・ 神田人(2) = 37万円
- ・ かんだもん(2) = 35万円
- ・ EAST WIND千代田(2) = 33万円
- ・ 結びの会(2) = 40万円
- ・ エイブル・アート・ジャパン(1) = 40万円
- ・ 神田SUM(1) = 26万円
- ・ Live With Dream(1) = 36万円

トライアル部門(助成額は一律5万円)

- ・ 千代田の野鳥と自然の会
- ・ たまごかけごはんTKG16(東京家政学院大学)
- ・ 四谷活性化プロジェクト

問合せ 産業まちづくりグループ ☎3233-7558(直通)

*千代田まちづくりサポートの助成金は賛助会費により賄われています。

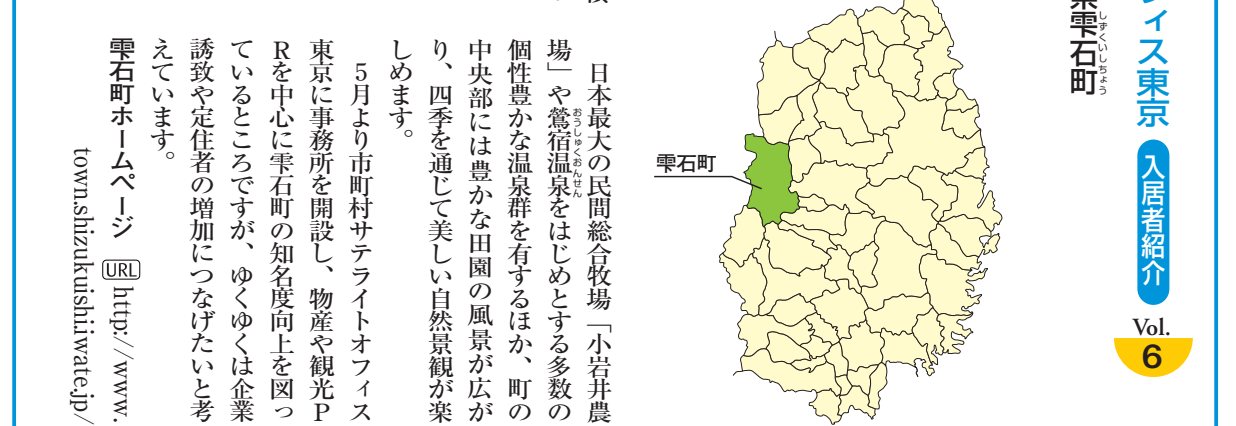


市町村サテライトオフィス東京 入居者紹介

岩手県いわてけん 岩手市いわて 小岩井農場の一本松と岩手山

雫石町は、北東北地方の拠点都市である盛岡市の西方約16kmに位置しています。人口は約1万8千人、奥羽山系の山脈に囲まれた東西約24km、南北約40kmの広大な扇状の盆地をかたどっています。

周囲には秀峰岩手山や秋田駒ヶ岳をはじめ1千m以上の山が連なり、これらの山岳や高原が町の面積の大部分を占めているため、総面積の約8割が標高300m以上という高原の町となっています。



日本最大の民間総合牧場「小岩井農場」や鶯宿温泉をはじめとする多数の個性豊かな温泉群を有するほか、町の中央部には豊かな田園の風景が広がり、四季を通じて美しい自然景観が楽しめます。

5月より市町村サテライトオフィス東京に事務所を開設し、物産や観光PRを中心に雫石町の知名度向上を図っているところですが、ゆくゆくは企業誘致や定住者の増加につなげたいと考えています。

雫石町ホームページ URL http://www.town.shizukuishiwate.jp/

がんばる中小企業応援リレーコラム
 どうする！反転攻勢の経営(2)
 (景気回復の芽を伸ばせ)

店創り・品揃え

ミニチェックシート(前篇)

中小企業診断士 三浦英晶氏

反転攻勢をかける際にどのような方向性で行くのか、「迷った時は、基本に戻る」です。

千代田区内にも数々のお店がありますが、いま生き残っているお店は、必ずどこかに理由があるはず。今回は、「店創り」と「品揃え」に焦点を絞ってそれを再認識し、更に伸ばすきっかけにして下さい。

◆店創り・店舗の持つ機能

店舗には、いくつかの機能があります。

(日)訴求機能Ⅱ知らしめる

(月)導入機能Ⅱ入らせる

(火)演出機能Ⅱ魅せる

(水)選択機能Ⅱ選ばせる

(木)購入促進機能Ⅱ買わせる

(金)情報発信機能Ⅱ伝える

このような機能が発揮されて日々の売上は成り立っています。

ところで、売上高は次の式で表すことができます。

売上高Ⅱ来店客数Ⅹ客単価

「来店客数」を伸ばしているお店は、(日)訴求機能や(月)導入機能が充実しているでしょう。また「客単価」については、次のようにさらに細かく分けて考えることができます。

客単価Ⅱ⑦動線長Ⅹ⑧立寄率Ⅹ⑨視認率Ⅹ⑩(買上率Ⅹ買上個数)Ⅹ⑪商品単価

(土)動線長Ⅱ顧客動線を長くする
 と(月)導入機能・(火)演出機能が向上します。

(祭)立寄率Ⅱ動線上で立ち止まる回数を増やすと(火)演出機能・(金)情報発信機能を高めます。

(祝)視認率Ⅱ(火)演出機能・(水)選択機能・(金)情報発信機能の充実により、商品を手取る回数を増やします。

(自)買上率Ⅹ買上個数Ⅱ手に取った商品を実際に購入する確率には(木)購入促進機能・(金)情報発信機能が関係しています。

(至)商品単価Ⅱ商品の価格設定が適正であることも重要です。

このような、客単価を上げるための活動(インスタプロモーション)は、比較的少ない投資で大きな効果が得られると言われています。

近年では、インターネット通販の伸びが目立ちます。ネットショップにおいても、いかに(土)を向上させるかという課題は実店舗と同じです。(後編に続く)

※コラムの全文は千代田days「中小企業応援リレーコラム」に掲載しています。

URL <http://chiyoda-days.jp/future/>
staffblog/relaycolumn/
 問合せ 産業まちづくりグループ ☎3233-7558(直通)

企業探訪 第2回千代田ビジネス大賞「特別賞」受賞の2社を訪問しました

インタビュー記事の全文は、千代田day's「上山の企業探訪」に掲載しています。

URL <http://chiyoda-days.jp/future/staffblog/legwork/>

問合せ 産業まちづくりグループ ☎3233-7558(直通)

環境貢献部門 株式会社地球健康クラブ

代表取締役 有賀博之 社長

「みんなでやろう！楽しい地球温暖化防止対策」

地球環境に良い、収益にもつながる、しかも楽しい、という温暖化防止活動をしている会社があります。3年前に設立された株式会社地球健康クラブです。有賀博之(ありがひろゆき)社長にお話をお聞きしました。



「エコ☆モ運動」

地球健康クラブの現在の活動の中心は「エコ☆モ運動」です。これは車に注目した環境配慮運動で、(日)環境整備、(月)リサイクル部品の積極活用、(火)エコ安全ドライブ、の3つの活動から構成されています。活動成果をユーザーに還元する仕組みを備え、今月から本格的にスタートします。

また、地球健康クラブは、CO2の見える化ポータルサイト「469maランド」も運営しています。(詳細は下記広告欄に掲載)

サラリーマン作家から社長作家へ

有賀社長は、26年間損保会社に勤務し管理職まで務めた人で、環境の専門家でも温暖化防止の技術の開発者でもありません。技術や環境データは、(株)

早稲田環境研究所が開発・所有しており、地球健康クラブはそれを広く深く活用するという役割を担っています。

(株)早稲田環境研究所の社長で早稲田大学の准教授でもある小野田先生と出会い、その環境対策への先進性に感動して会社を退社。この一大決心により、地球健康クラブが生まれました。会社員時代からサラリーマン作家としても活躍したり、キックボクシングのインストラクターをしたりと、多彩な才能を持っていた有賀社長。その才能が、地球という大きなテーマと出会い、環境技術と融合したのです。

地球温暖化防止対策に、我々もどのように参加できるのか？地球健康クラブからの提案がとても楽しみです。

優秀老舗部門 株式会社龍名館

代表取締役 浜田敏男 社長

「二つの和の心でお客様をおもてなし」

地下鉄新御茶の水駅のほど近くに和風の旅館があります。旅館龍名館本店です。明治32年の創業以来110年、静かにお客様をもてなし続けています。

今回お邪魔したのは、旅館龍名館本店を運営する株式会社龍名館。代表取締役浜田敏男(はまだとしお)社長にお話を伺いました。



龍名館の激動の歴史

創業から順調な成長を続けていたところに関東大震災が起り、経営していた3店全てが焼失。茫然自失の状態からようやく再建を果たしたところで第二次世界大戦を迎えます。そして終戦からの復興、本店の近代ビル化、八重洲龍名館の建替え…。一世紀以上に及ぶ龍名館の激動の歴史は、歴代当主、社長と社員の皆さんの大変な努力により受け継がれてきたものです。

和風旅館へのこだわり

旅館龍名館本店は和風のコンセプトに貫かれています。和の良さを提供することが先代より引き継いできた義務だと感じています、と浜田社長。

和風旅館であるにもかかわらずお客様の約半数が外国人であることも大きな特徴です。世界に向けた宿泊先紹介サイトにも登録し、今後はさらに外国のお客様にお越し頂きたい考えです。龍名館本店は日本の観光産業にとっても、大切な役割を担っているのです。

二つの和

「人の和」というのが(株)龍名館の社訓です。聖徳太子の憲法十七条からの引用ですが、その心はスタッフの皆さんの動きからも感じられます。

もう一つは、日本式という意味の「和」。龍名館本店は、合理性や機能性ばかりが追求される西洋的価値観での生活に慣れてしまった私たちに、和の良さを振り返り、その意味を考え直す機会を与えてくれているのかもしれない。

第2回千代田ビジネス大賞 特別賞受賞 ー環境貢献部門ー

心と体と地球を元気にしよう。“次世代を担う子供達に青空を”コンセプトとして(株)早稲田環境研究所(早稲田大学発ベンチャー企業)と産学連携で「CO2の見える化」ポータルサイト469maランドを運営しています。キャラクターのピースケが登場し、環境についてのブログ・情報も充実、コスト削減にとお役に立ちます。是非、見て、参加してください。

〒101-0032
 東京都千代田区岩本町2-11-3 第八東誠ビル8F
 株式会社地球健康クラブ
 TEL 03(5833)5403 FAX 03(5833)5404
<http://www.469ma.jp/>

エコ☆モしよう!



国内初!クルマに関するCO2削減量検索データ・バンク「W-terminal」始まる